

2010年1月25日

## HSBCグループ、2009年第4四半期

ファンドマネジャー調査結果：株式に警戒感、債券へシフト  
～ 欧州株式ファンドおよび日本株式ファンドからは、資金が流出 ～

新興国市場に強みを持つ世界有数の金融・銀行グループであるHSBCは、運用資産額で世界の大手資産運用会社13社<sup>注1)</sup>を対象にアセット・アロケーションの方向性とグローバルなマネーフローを分析した、2009年第4四半期のファンドマネジャー調査の結果を発表しました。

今回の調査結果では、債券に対して強気な見方を示すファンドマネジャーが2009年第3四半期の30%から56%に増加したことが明らかになりました。また、米国株式ファンド、エマージング株式ファンド、（日本を除く）アジア太平洋株式ファンド、中国株式ファンドに資金が流入し、景気が回復している地域が拡大していることが示唆された一方で、欧州株式ファンドおよび日本株式ファンドからは、ネット・フローで見ると資金が流出していることも明らかになりました。

債券については、グローバル・エマージング/ハイイールド債券を強気に見ているファンドマネジャーの割合が、2009年第3四半期の43%から、第4四半期は71%に増加しました。また欧州債券をオーバーウェイトとしている割合も、38%から57%に増加しました。

一方、株式に対しては楽観的な見方を後退させており、オーバーウェイトとしているファンドマネジャーの割合は、50%から33%に減少しました。そのうち中国株式に対しては、依然として57%のファンドマネジャーが強気にみっていますが、2009年第3四半期の75%からは減少しています。他方、米国株式を強気にみている割合は、18%から22%に増加しています。

[次頁に続く](#)

## HSBC、2009年第4四半期ファンドマネジャー調査を実施/2

HSBCグループ香港上海銀行個人金融サービス本部本部長兼マネージングダイレクターのゴッドフリー・スウェインは、今回の調査結果について次のような見解を示しています。「低金利の環境下、2009年第4四半期においては、ファンドマネジャーの現預金離れが顕著に見られました。株式については、今後も引き続き成長機会が見込めるものの、2009年中盤に世界の株式市場が急回復した局面で獲得したほどのリターンを今後も獲得できる、とまでは期待されていません。債券は、景気見通しの不透明感に対する投資家の不安の受け皿として再び注目されており、利回りも改善しています。」

HSBCのファンドマネジャー調査は、世界大手の資産運用会社13社を対象に運用資産、アセット・アロケーションの方向性、及びグローバルなマネーフローを分析しています。推定ネット・マネーフロー<sup>注2)</sup>は、運用資産の変動と対応する指数の変動との比較から導き出したものです。調査対象運用会社13社の運用資産合計額は3.72兆米ドル<sup>注3)</sup>です。

次頁に続く

**注記:**

**1:**調査協力資産運用会社13社は以下のとおりです。

アライアンス・バーンスタイン、アリアンツ・グローバル・インベスターズ、ベアリング・アセット・マネジメント、ブラックロック、フィデリティ・インベストメント・マネジメント、フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ、HSBCグローバル・アセット・マネジメント、インベスコ・アセット・マネジメント、インベステック・アセット・マネジメント、JPモルガン・アセット・マネジメント、プルデンシャル・アセット・マネジメント、シュローダー・インベストメント・マネジメント、ソシエテジェネラル

**2:** ネット・ファンドフローは、2009年第3四半期における運用資産の増加額から市場の増加額を差し引いて求めました。

**3:** 2009年第3四半期末現在

**HSBCグループ**

HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングス plcは英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる86の国と地域に8,500を超える拠点を擁し、2009年6月末現在2兆4,220億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

**日本における香港上海銀行**

HSBCグループの母体行である香港上海銀行(本店・香港)は、日本で140年以上営業を続けており、事実上、日本で最も長い歴史を持つ銀行です。現在、東京と大阪に支店を展開しています。法人向けの金融業務、プライベートバンク業務やHSBCプレミアなどの個人向け金融業務を提供しています。

**HSBCプレミア**

HSBCグループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルス・マネジメント・サービスを提供しています。2000年にサービスを開始し、2007年5月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。すでに、世界の43の国と地域で300以上のHSBCプレミアセンター(店舗)が設置されており、330万人以上の顧客にサービスを提供しています。日本では、お預り資産残高が1,000万円以上のマス富裕層のお客様のための専門銀行サービスとして、クオリティーの高い個人向けウェルス・マネジメント・サービスを提供します。日本では、2008年1月にサービスを開始しました。これまでに赤坂、銀座、広尾、丸の内、横浜、池袋、神戸にHSBCプレミアセンターが開設されており、日本全国のHSBCプレミアセンターの支店網は7店舗です。

以上